

IV 令和5年度 富山市民大学に関するアンケート結果報告書

1 調査の趣旨

令和5年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回のみ記入。
- ・昨年からの主な変更点として、大学祭・デジタル環境活用に関する設問を追加した。

4 回答者

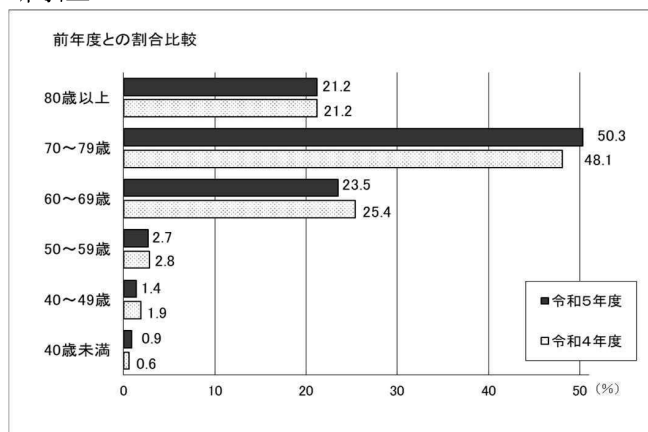
【表面】 1,109名/1,685名（延人数） 回答率 65.8%（昨年 66.1%）

【裏面】 914名/1,165名（実人数） 回答率 78.5%（昨年 74.7%）

5 令和5年度 富山市民大学受講者の属性

(1) 年代

- ・受講者のうち、60歳以上が95.0%（昨年94.7%）を占め、平均年齢は72.9歳（昨年72.6歳）である。
- ・特に80歳以上の割合が、昨年と同じく21.2%を占める。
- ・平均年齢は、5年前（2018年）70.7歳、10年前（2013年）68.7歳であり、徐々に高くなっている。



<考察>

「高齢者雇用安定法」（2021年4月施行）により、65歳から70歳までの労働者の就業機会確保、70歳までの定年引上げ等の措置を講ずる努力義務が新設された。これにより、今後ますます市民大学の受講者の年齢層は上がり、高齢化すると予想される。

(2) 居住地

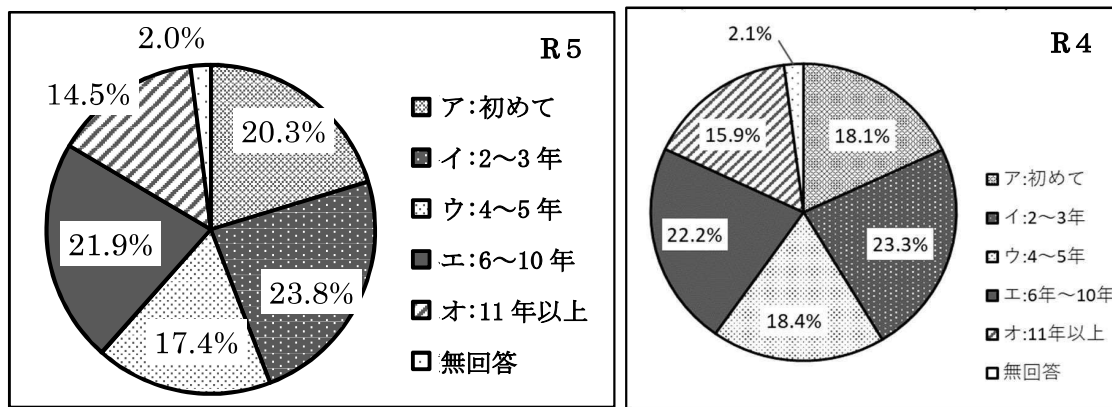
- ・受講者の87.9%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.5%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、7名で0.6%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

6 アンケート結果と考察 回答数(表面)1,109人

参考：() は昨年度の数値

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について

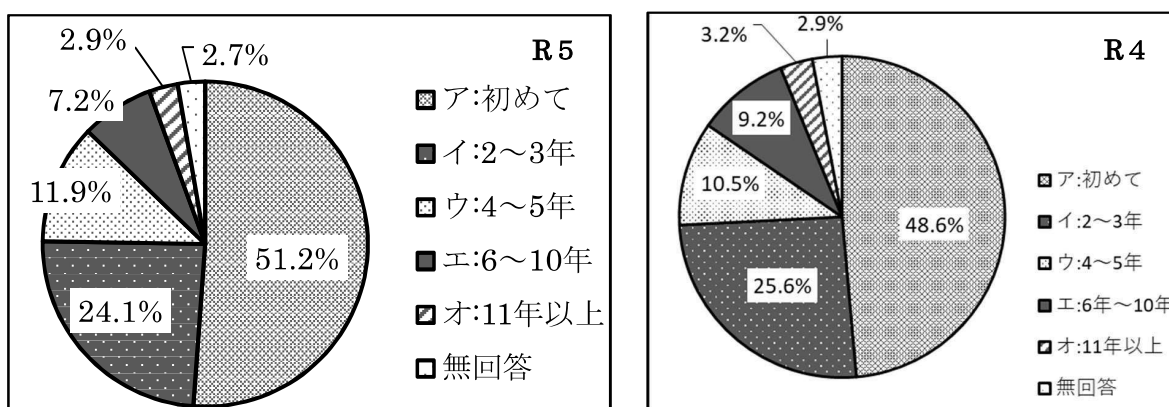


- ・昨年度と同様、受講者の約20%が新規受講者である。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて44.1%(41.4%)を占めている。
- ・一方、6年以上の受講者が36.4%(38.1%)を占めており、中でも「11年以上の受講者」は14.5%(15.9%)を占める。このうち11年～15年が10名、16年～20年が8名、21年～25年が1名、26年以上は7名、最長で40年という受講者がいる。

<考察>

- ・3年以内の受講者が約45%いることから、一定程度の新規受講者が獲得できている。
- ・6年以上の受講者も約40%いることから、市民大学への満足度が高い。
- ・中でも11年以上の受講者が約15%もあり、市民大学が生活の一部となっている。

「2. コースの通算受講年数」について

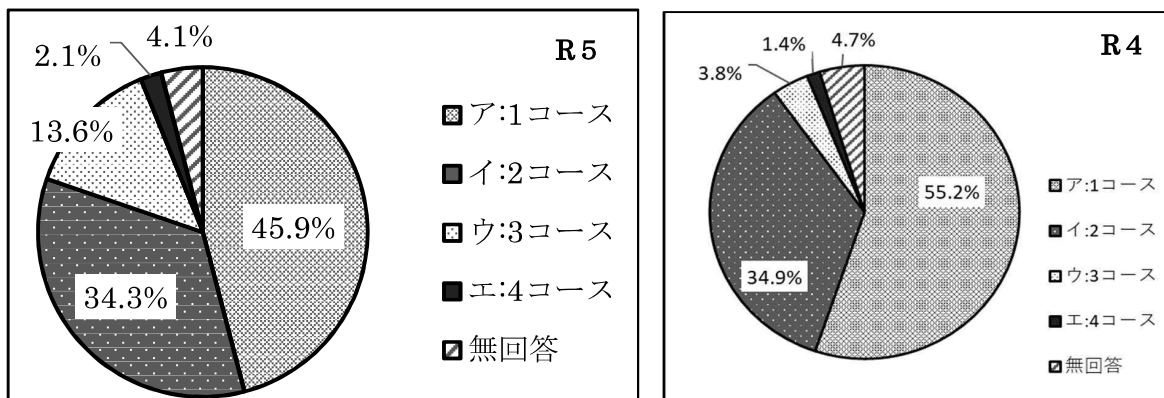


- ・このコースを初めて受講した人は、51.2%(48.6%)で、半数を占めている。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて75.3%(74.2%)を占めている。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は10.1%(12.4%)と減少した。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者44.1%に対し、コースの通算受講年数3年以内は75.3%であり、30%以上の受講者が、コースを変えて市民大学を継続受講している。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が高まった。

「3. 受講コース数」について



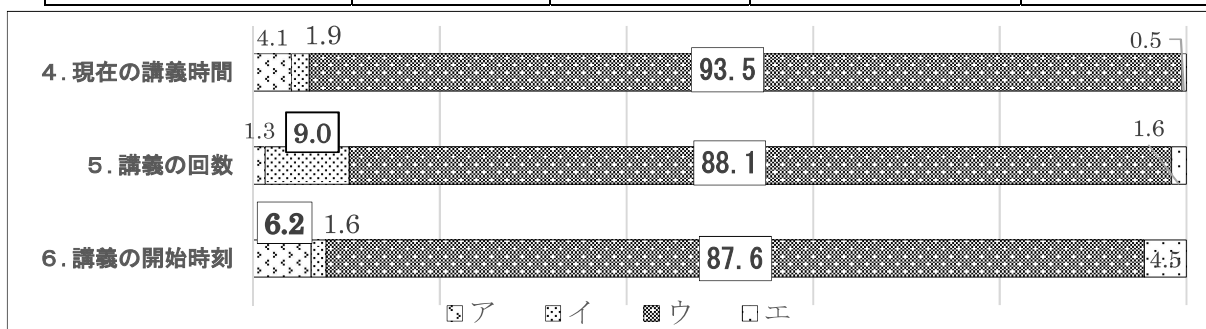
- ・ 2コースを受講している受講者が34.3%と、昨年(34.9%)と同等である。一方、3コース以上を受講している受講者が15.7%で、昨年(5.2%)より9.8%増加した。最高は4コースである。

<考察>

複数コースの受講を差し控えていた受講者が、積極的に受講されたものと推察する。

(2) 受講コースの評価 (時間・回数) について【設問4～6】

	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
4. 現在の講義時間	4.1%	1.9%	93.5%	0.5%
	ア:多い	イ:少ない	ウ:ちょうどよい	無回答
5. 講義の回数	1.3%	9.0%	88.1%	1.6%
	ア:早い	イ:遅い	ウ:ちょうどよい	無回答
6. 講義の開始時刻	6.2%	1.6%	87.6%	4.5%

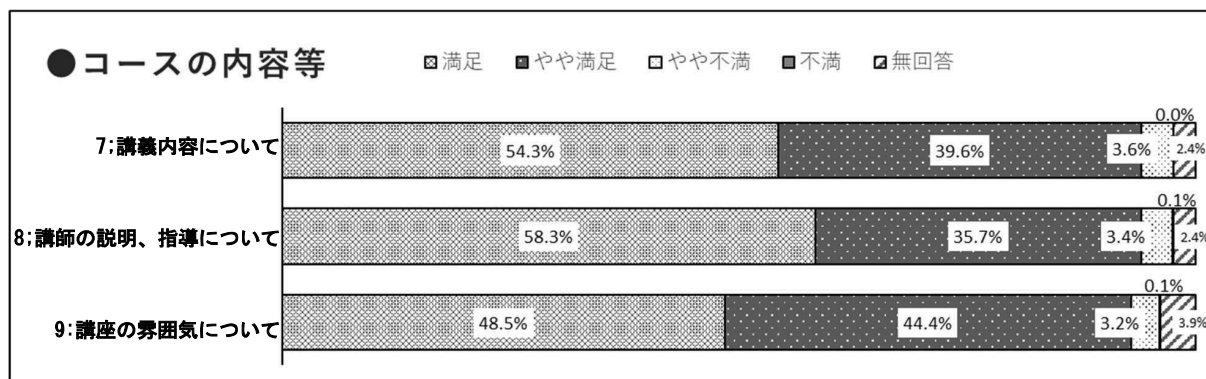


- ・ いずれの項目も、約90%の受講者が「ちょうどよい」と回答している。ただし「講義の回数」については「少ない」との意見が9.0%、「開始時刻」については「早い」との意見が6.2%ある。

<考察>

- ・ 「講義の回数が少ない」との意見が9.0%あることから、学ぶ意欲の高さがうかがえる。なお、講義時間・回数ともに概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。
- ・ 開始時刻についても概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。一方で、「早い」と感じている受講者が、昨年から引き続き一定数いることに留意し、今後もアンケート項目に入れて意見を探りたい。

(3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】



● 自由記述（一部抜粋）

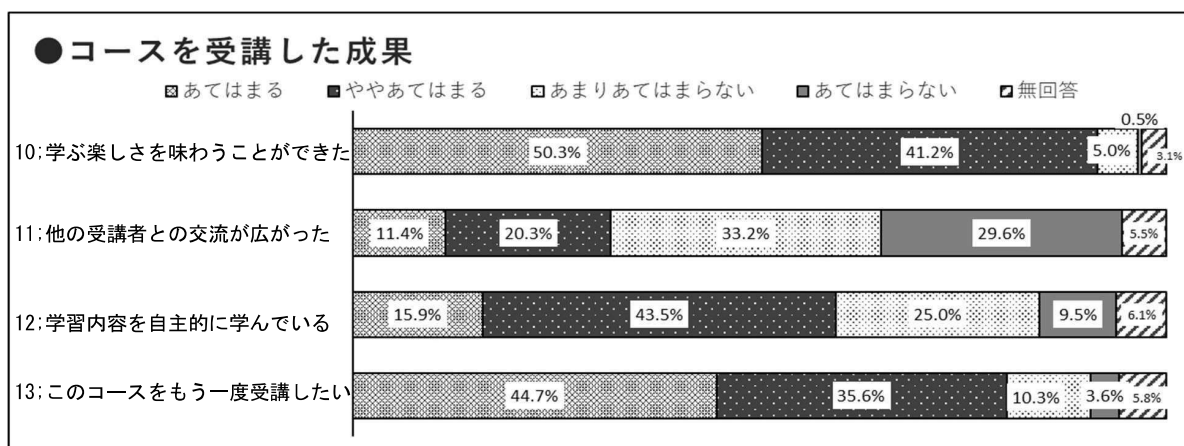
区分	内容
7. 講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回含蓄のある内容であり楽しませてもらった。 ・ これまで点として知っていたことが、歴史的に線として結び付き、新しく視野が広がった。 ・ 講師の話は、分かり易い表現で楽しいが、高度なレベルで理解できない時がある。 ・ 学習テーマの基礎について、もう少し時間をかけてほしい。 ・ 学習テーマと、講義内容の関連性に疑問がある。
8. 講師の説明・指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の情熱が伝わる講義だった。 ・ 講師の話が楽しい。 ・ 講師の説明が分かり易くてよい。 ・ 耳が遠くなったので早口、小声は聞きとりづらい。 ・ 説明の時間を短く、実習の時間にまわしてほしい。 ・ 各講義に資料がないこともあるので資料を最低1枚はお願いしたい。 ・ 時々でよいので、質問や意見交流の時間がほしい。
9. 講座の雰囲気について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変雰囲気が良く毎回楽しく受講出来た。 ・ 携帯電話のマナー、おしゃべりマナーが悪い。

- ・ 「満足」「やや満足」と回答した割合が、「7. 講義内容について」は93.9%、「8. 講師の説明、指導について」は94.0%、「9. 講座の雰囲気について」は92.9%といずれも肯定的である。
- ・ 自由記述では、数名の人が、受講者のマナー違反（私語等）を指摘している。

<考察>

- ・ コース・講座によって差はあるが、概ね受講者のニーズにあった講義が展開されており、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れている。
- ・ 自由記述から、「分かりやすい説明や資料」「質問時間の設定」への一定数の要望がある。さらに魅力ある講義となるように、講師の方々に受講者の要望を伝えていく。
- ・ 携帯電話や私語については、これまでも注意喚起を行っているところではあるが、受講者の学習意欲を妨げないよう、引き続き注意喚起していく。

(4) 受講した成果について【設問 10～13】



●自由記述（一部抜粋）

区分	内容
10. 学ぶ楽しさについて	<ul style="list-style-type: none"> ・作品が出来ていくのが楽しい。 ・自由に作らせてもらい、皆さんの作品を見てどんどん創作意欲が高まりこのくらい的人数がちょうど良い。 ・とても楽しく制作できて大満足である。 ・古典は、敷居が高いイメージであったが、講師のお話が分かり易く、有意義な講義だと満足している。 ・講師は日本人もいるが、外国人は日本語で楽しく解説されるのがおもしろかった。
11. 他の受講者との交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを確定し、意見交換の機会を設けてほしい。 ・受講後に講師を交えた話し合いの場を作れば、交流が広がるのではないかと。（雑談会） ・席についたら最後まで、他の人と会話することはあまりない。 ・元々、受講のみが目的で、交流を望んでいない。
12. 自主的な学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて受講して、知らない事を自分で調べるのが楽しかった。 ・講義がきっかけで漢字に興味をわき、漢字検定を受験し3級と準2級に合格した。 ・講義をきっかけに、図書館で落窪物語を借りた。
13. 同コースの再受講について	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段に不都合がない限り、継続して受講したい。 ・講義により、もう一度受講したいものもある。 ・全項目を受講できなかったため、次年度があれば補講として受講したい。

- ・「10. 学ぶことの楽しさを味わうことができた」は、91.5%が概ね肯定的な回答であり、例年並みである。
- ・「11. 他の受講者との交流が広がった」の否定的な回答は62.8%であり、例年並みである。特に座学中心のコースにおいて否定的な回答が多く、自由記述にも、受講者間の接点の無さを指摘する声が多い。
- ・「12. 学習内容を自主的に学んでいる」は、59.4%が肯定的な回答であり、昨年度より1.8%増となった。
- ・「13. このコースをもう一度受講したい」は、肯定的な回答が80.3%を占めており、昨年度より2.6%の増である。

<考察>

- ・91.5%の受講者が学ぶ楽しさを感じているほか、自主的な学習については、肯定的な回答が昨年より増加しており、生涯学習を推進する場として、その役割を一定程度果たしているものとする。
- ・他の受講者との交流については、62.8%の受講者が否定的な回答である。特に座学による講義は、受講者同士の関わりが少ないこと等から、今後もこの傾向は続くものとする。
一方、「意見交換の機会を設けてほしい」等の意見もあり、受講者同士の関わりや、講師と受講者との双方向の関わりも検討する必要がある。
- ・コース再受講については、肯定的な回答が80.3%を占めた。ただし、コースにより割合は大きく異なる。同じコースの再受講が必ずしも良いわけではないが、コースの満足度を推し量る指標として、今後のコース・講義内容を検討する際に考慮していく。

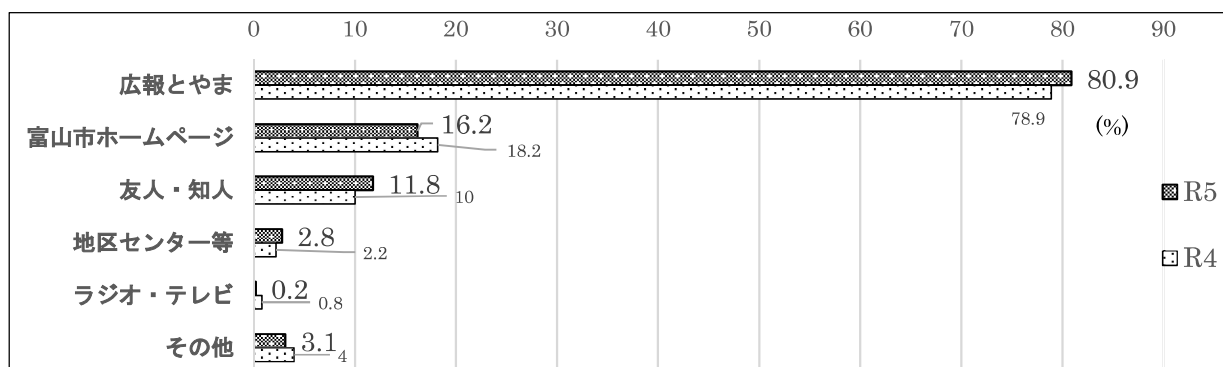
(5) コース全般について【設問 14：自由記述】（一部抜粋）

区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・人なかに出る機会を楽しんでいる。 ・一人暮らしなので、受講で気分がよくなる毎日である。 ・高齢になって学べるのがうれしい。生きがいの一つである。 ・自分の生き方の参考にしている。 ・大学教授から、直接専門的な話が聴ける貴重な場であった。 ・身近なテーマであり、実生活に大いに役立つ。 ・同じコースでも、受講するたびに新しい発見がある。 ・学ぶことの楽しさを知った。 ・久しぶりに学生時代に戻った感があり、良かった。
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞などにも記載されていれば、読むようになった。 ・郷土の歴史を学ぶことで愛着がより強くなった。 ・富山について知らなかったことがたくさんあって楽しい。 ・全く知らなかった富山の歴史の一端を知ることができ、あらためて日本の歴史に結び付けて楽しめる受講となった。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養のバランスに気を付けることや健康に繋がるお話があり、分かり易い。 ・健康について色々な面から知識を得ることができ、大変勉強になった。 ・歩いたり体を動かしたりする大切さが良く分かりました。 ・頭を使って考えることが少なくなってきたので、よい刺激になった。 ・年と共に頭の回転が鈍ってきている。カツを入れる良いチャンス。
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・他の受講者と親しく楽しく学ぶことができた。 ・受講者との交流が広がり、市民大学祭の発表の機会が励みになる。 ・皆さんの俳句を読ませていただくのが楽しみになりました。
意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金が高い。 	
要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・質問タイムを作してほしい。 	

(6) 市民大学全般について【設問 15～24】 回答数(裏面)914名

「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について

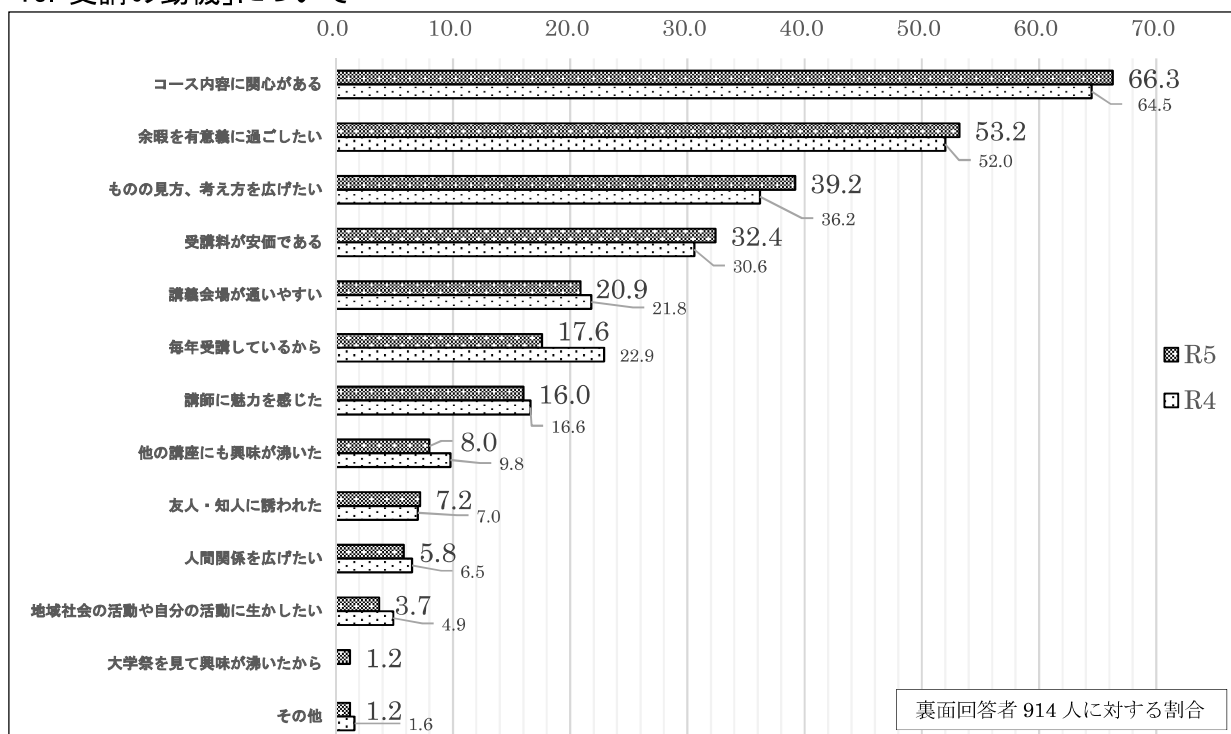
裏面回答者 914 人に対する割合



<考察等>

- ・市民大学の情報取得手段としては、例年どおり「広報とやま」が約80%を占め、最も多い。
- ・富山市ホームページを情報取得手段とする割合が、昨年より約2%減少した。
- ・引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実に努めたい。

「16. 受講の動機」について



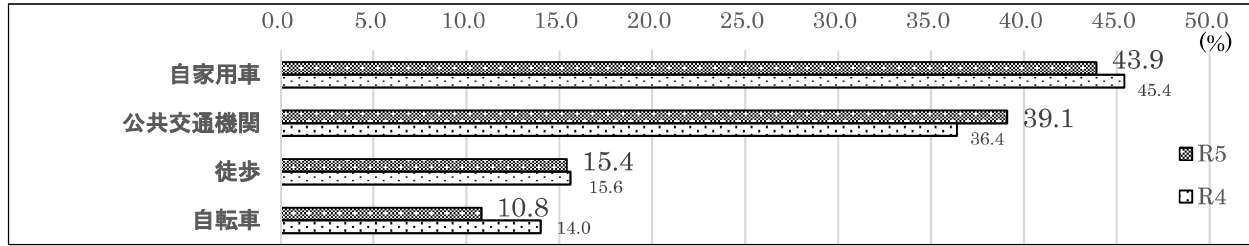
裏面回答者 914 人に対する割合

<考察等>

- ・「コース内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「ものの見方・考え方を広げたい」となっており、例年どおりの傾向である。
- ・次に「受講料が安価である」「講義会場が通いやすい」等、物理的な動機も例年どおり多い。
- ・「毎年受講しているから」が、17.6%を占め、市民大学が生活の一部になっていることが分かる。
- ・昨年度設けた項目「人間関係を広げたい」は5.8%にとどまり、市民大学において交流を求める受講者が、昨年同様に少ないことが分かる。
- ・新たに設けた項目「大学祭を見て興味が沸いたから」が1.2%にとどまり、大学祭の効果が少ないことが分かる。
- ・新たな知識の獲得等、余暇を有意義に過ごすことが主な目的で、交流が目的の受講者は少ない状況である。

「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について

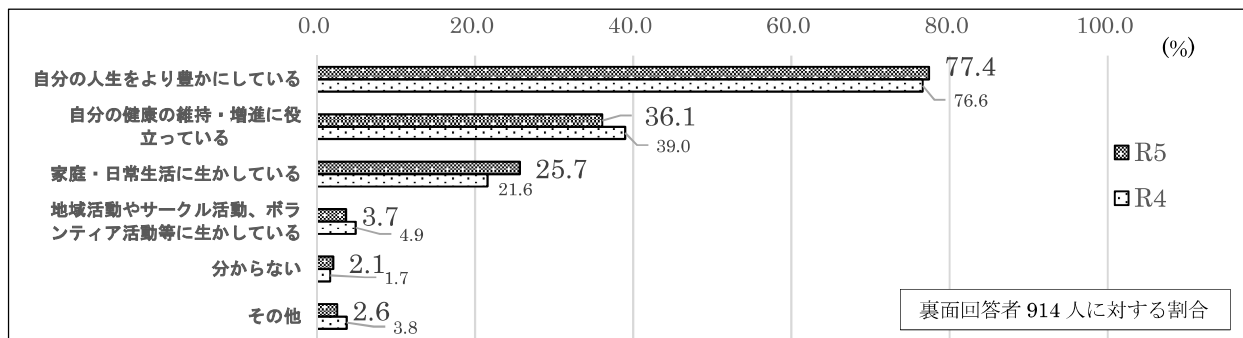
裏面回答者 914 人に対する割合



<考察等>

- ・自家用車が43.9%、公共交通機関が39.1%で、自家用車が最も多いとはいえ、公共交通機関の利用も多く、公共交通機関を利用した「まちなか」へのお出かけ促進を図る富山市の政策に資する事業の一つとなっていると考える。

「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について

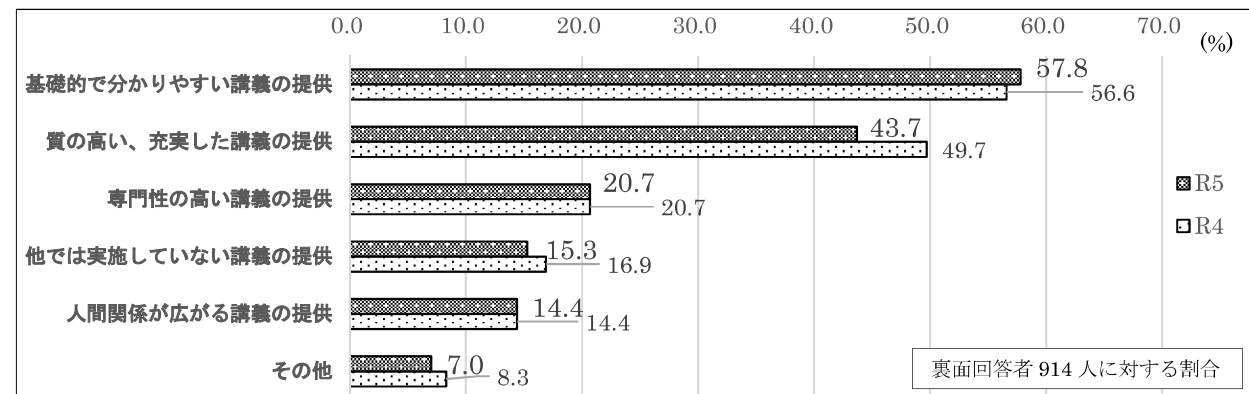


裏面回答者 914 人に対する割合

<考察等>

- ・77.4%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・次の「健康維持・増進に役立つ」は36.1%を占め、「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコースに加え、「健康生活の知恵」「楽しい脳トレーニング」等、健康に関する様々な分野の講座があることが理由の一つと考える。
- ・また「14. 自由記述」に見られた、講義に参加するために「人なかに入る」「他の受講者と交流する」ことが、健康維持・増進に繋がっていることも推察する。

「19. 市民大学に今後期待すること」について



裏面回答者 914 人に対する割合

<考察等>

- ・「基礎的でわかりやすい講義の提供」が57.8%を占め、最も要望が多い。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」は43.7%を占めており、例年どおり要望が多く、いずれの受講者にも共通する。
- ・一方で、「専門性の高い講義の提供」が20.7%と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」に努めることを基本に、市民ニーズに合ったコース・講義の提供に努める。

「20～21. 富山市民大学祭」について

設 問	ア:はい	イ:いいえ	無回答
20 これまでに、大学祭へ来たことがあるか。	55.4%	42.0%	2.6%
21. 自分の学習成果を発表したいか。 (作品展示、ステージ発表等)	15.4%	74.9%	9.6%

<考察等>

- ・今回、新たに設けた設問である。
- ・55.4%が「大学祭へ来たことがある」と回答している一方、42.0%が「来たことがない」と回答している。受講者が参加したくなるよう今まで以上に働き掛けるとともに、これまで以上に市民への広報活動に努める。
- ・「自分の学習成果を発表したいか」に対して、74.9%が否定的に回答している。講義への満足度は高いが、「発表」への意欲にはつながっていない。

「22～24. デジタル環境」について

設 問	ア 自分でできる	イ, 家族等に教えてもらえばできる	ウ, スマホ・パソコンは使えない	無回答
22.市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできる	49.6%	25.2%	20.4%	4.9%
23.スマホやパソコンからイベント等の申込ができる。または、したことがある。	48.5%	26.9%	19.7%	4.8%
24.スマホを使ってキャッシュレス決済を利用できる。	38.9%	20.5%	34.8%	5.8%

<考察等>

- ・昨年度、受講手続き等のデジタル化の可能性を探るために調査したところ、60%以上の受講者は、普段からデジタル機器を活用していることが判明した。その結果を踏まえて、今回はデジタル機器の活用の仕方に関して、新たに設けた設問である。
- ・「市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできる」「スマホやパソコンからイベント等の申込ができる。または、したことがある」は、約50%が「自分でできる」と回答した。「家族等に教えてもらったらできる」を加えると約75%を占める。
- ・「スマホを使ってキャッシュレス決済を利用できる」に対して、38.9%が「自分でできる」と回答したが、34.8%が「スマホ・パソコンは使えない」と回答している。
- ・利便性向上のため、デジタル化について検討していく。

7 アンケート全般について（考察）

- ・限られた人員で多彩なコースを同時進行で行っており、コース増などは容易ではない現状だが定員の充足率を指標として、さらに市民ニーズに応じた多彩なコース開設や講師選定に努める
- ・また、継続受講や他のコースも受講してみたいと思う受講者は相当数おり、引き続き満足度を高める工夫をすることが求められる。
- ・市民大学を知らない方に周知を行い、新規の受講者獲得に努めることが重要である。そのために、市広報をはじめ、大学祭や特別講義、特別講演会の周知の仕方を今以上に工夫し、受講者数の増に努める。

令和5年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
2	このコースの通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
3	今年度の受講数	ア 1コース	イ 2コース	ウ 3コース	エ 4コース以上(コース)	

● このコースの時間・回数等について

4	現在の講義時間(休憩を含み120分など)	ア 長い	イ 短い	ウ ちょうどよい
5	講義の回数(10回・15回など)	ア 多い	イ 少ない	ウ ちょうどよい
6	講義の開始時刻	ア 早い	イ 遅い	ウ ちょうどよい

● このコースの内容等

質問項目	評価欄			
	満足	やや満足	やや不満	不満
7 講義内容について	4	3	2	1
8 講師の説明、指導について	4	3	2	1
9 講座の雰囲気について	4	3	2	1
自由記述	※ 質問7～9についてご意見がありましたら、ご記入ください。			

● このコースを受講した成果

質問項目	評価欄			
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
10 学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11 他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12 学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13 このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1
自由記述	※ 質問10～13についてご意見がありましたら、ご記入ください。			

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く

ここからは、一人1回の回答となります。
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法（該当するものすべてに○を付けてください。）

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他()

- 受講の動機（該当するものすべてに○を付けてください。）

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	サ 毎年受講しているから
	シ 大学祭を見て興味が沸いた	ス その他()	

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段（該当するもの○を付けてください。）

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他()	

- 市民大学で学んでよかったと思うこと（該当するものすべてに○を付けてください。）

18	ア 自分の人生をより豊かにしている
	イ 家庭・日常生活に生かしている
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている
	オ 分からない
	カ その他()

- 市民大学に今後期待すること（該当するものすべてに○を付けてください。）

19	ア 質の高い、充実した講座の提供	カ その他（具体的に書いてください。）
	イ 専門性の高い講座の提供	
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供	
	エ 人間関係が広がる講座の提供	
	オ 他では実施していない講座の提供	

- 富山市民大学祭について（該当するものに○を付けてください。）

20	これまでに、大学祭をご覧になったことがありますか。	ア はい	イ いいえ
21	市民大学で、ご自身の学習成果を発表したいと思いませんか。(作品展示やステージ発表等)	ア はい	イ いいえ

- デジタル環境について（該当するものに○を付けてください。）

22	市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえればできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
23	スマホやパソコンからイベント等の申込ができますか。または、したことがありますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえればできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
24	スマホを使ってキャッシュレス決済を利用することができますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえればできる	ウ できない (スマホを持っていない)

※ ご協力ありがとうございました。